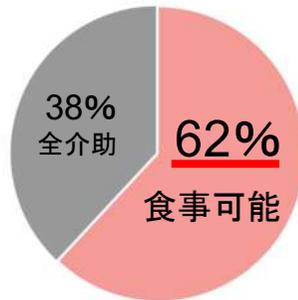


食べこぼしのない世界を目指して



東京会場Cグループ

皆さん、この写真を見てどう思われますか？



脳性麻痺児の **62%** が自力で食事を食べている

姿勢が傾く



声かけ必要



自分で姿勢を修正できる

自分の姿勢に気づくことで自立を促し、食べこぼしを減らせないか？

## 既存のソリューション

座位保持装置・椅子



動作による姿勢の崩れは修正が難しい

人的介助



常に人員が必要  
自立を促したい

## 姿勢 uPO【アップ】

正しい姿勢で  
食事をしていると、



動画 音楽 その他

姿勢が  
崩れてくると、



コンテンツが連動して  
停止やモザイク

自分の姿と  
正しい位置が表示



## Feedback

自分がどういふ状態なのか見る機会がない、  
“自分の姿が映って修正できる”というのはいい！



施設のスタッフ

姿勢を意識せずに食べることが多いと思うので、  
意識させることは必要かなと思う



脳性麻痺児のお母さん

本人が、危ない姿勢で気づくのが一番大事で、  
倒れそうだと気づくとハッとする



重症児のお母さん

長かったらアラームが鳴るとか、**第3者もわかる**  
ような工夫があるといい



施設のスタッフ

声掛けに頼らず、正しい姿勢を教えてくれること  
を



継続できることで、効果があるのではと思う

脳性麻痺児のお母さん

## 既存ソリューションとの比較

姿勢 uPO【アップ】



提案アプリ  
自分の姿勢と  
適切な位置を表示

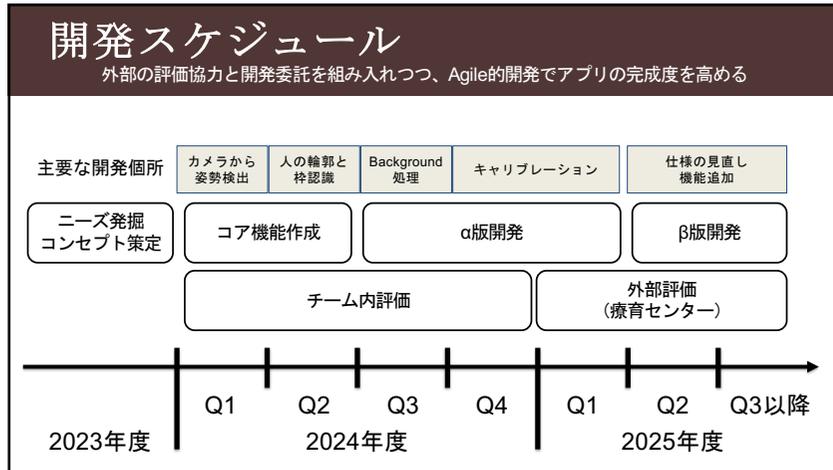
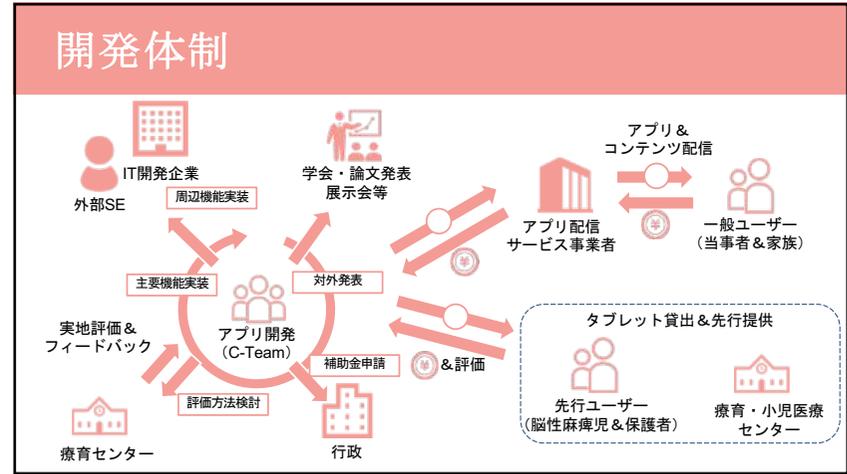


座位保持装置・椅子  
身体部位の固定



人的介助  
声かけ / 手で補助

こぼしを減らす	○ (要設置)	△ (座位姿勢の保持)	○ or △ (こぼした時の拭き取り)
姿勢の“修正”を支援	○	×	○
自分の状態が認識できる	○ (視覚的に)	×	△ (声かけで)
家族が調整可能	○	○	—



## TEAM MEMBERS

**渡邊大貴**  
研究管理理学療法士、博士(医学)  
治験調整医師のサポート  
医工融合研究や大学の非常勤講師として、理学療法評価学や神経系理学療法学を教授

**樋口未帆**  
看護師  
呼吸器・腫瘍科・血液内科の患者さんが入院する病棟に所属  
以前はCUIに所属

**大浦楓子**  
博士後期課程/  
特任研究員  
人間工学デザインの分野で共創、UXデザインの実践やデザイン手法を研究

**大友高行**  
フリーランスのエンジニア  
ハードウェア、ソフトウェア両方の仕事に携わる

Call To Action ”自分で気づき・直す”機会を！  
姿勢チェックで、こぼしをなくそ

う！



一緒にアプリを作ませんか？

Adobe Flash